

貸借対照表の状況

(借方)			(貸方)			(単位：億円)	
区分	R6	R5	区分	R6	R5		
1. 資産	249.5	250.4	2. 負債	163.9	164.7		
(1) 固定資産	223.1	226.9	(1) 固定負債	123.1	123.6		
土地	4.4	4.4	企業債（翌年度に償還しないもの）	122.4	122.6		
建物	6.0	6.3	退職給付引当金	0.7	1.0		
構築物	137.5	137.5	その他	0.0	0.0		
機械及び装置	18.2	19.4					
建設中の施設	0.4	0.6					
施設利用権	46.5	48.2					
その他	10.1	10.5					
(2) 流動資産	26.4	23.5	(2) 流動負債	11.2	10.0		
現金・預金	23.5	20.3	企業債（翌年度に償還するもの）	7.4	7.4		
未収金（貸倒引当金含む）	2.4	2.6	未払金（年度末請求の工事費等）	3.6	2.3		
その他	0.5	0.6	その他	0.2	0.3		
			(3) 繰延収益	29.6	31.1		
			長期前受金（資産取得の際の補助金等）	29.6	31.1		
			3. 資本	85.6	85.7		
			(1) 資本金	58.7	58.5		
			(2) 剰余金	26.9	27.2		
			資本剰余金	0.0	0.0		
			利益剰余金（過去の黒字・赤字の累計額）	26.9	27.1		
(借方計)	249.5	250.4	(貸方計)	249.5	250.4		

貸借対照表は、借方として資産、貸方として負債、資本を表しており、借方、貸方それぞれの合計額は等しくなります。

令和 6 年度を前年度と比較すると、借方については、資産の減価償却により固定資産が 223 億 1 千万円と 3 億 8 千万円の減、流動資産が現金・預金の増等により 26 億 4 千万円と 2 億 9 千万円の増となりました。

貸方については、企業債残高の減により固定負債が 123 億 1 千万円と 5 千万円の減、流動負債については工事費の未払い金の増により 11 億 2 千万円と 1 億 2 千万円の増となりました。また、資本のうち剰余金が、赤字決算により 3 千万円の減となりました。

以上のこと等から、借方・貸方の計はそれぞれ 249 億 5 千万円と 9 千万円の減となりました。